

(様式4)

事業所名 グループホーム星のさと

目標達成計画

作成日: 平成 23年 8月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	管理者以外のスタッフが、必要があったときに、認知症の人の理解や支援の方法などを地域の人々・相談者に実践を活かしてのアドバイスなどが出来るには不十分な点が多いと考えられる。	スタッフ全員が地域密着型サービスとしての役割をしっかりと理解した上で、ホームに地域の人々や相談者がたずねて来たときにアドバイスや適切な機関(事業所)などへ相談をつなぐことができるようになる。	スタッフミーティングなどで認知症について正しく理解する機会を設ける。 外部の研修に参加し伝達する。 相談体系の確認をする。 地域密着型サービスとしての役割を確認する。	12ヶ月
2	34	急変や事故発生時にしっかりと適切な対応ができるには不十分と考えられる。	急変や事故発生時の対応方法などを継続して学んだり、訓練を行い実践力が身につくようになる。	スタッフミーティングや隣接する老健との合同の研修会で訓練する機会も設ける。 講師を外部から招いたり、外部研修に参加することも検討する。	8ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。